

2020年度事業計画

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

2020年度は、前年度に引き続き、施設協会の基本的な役割である、会員や会員各社のニーズや要望に応じていくとともに、期待されている公的な機関としての役割を果たしていく取組みを進めていきます。特に今年度は新型コロナ感染拡大の影響のため先が見通せない中でのスタートとなりますが、変化する状況を捉えて、的確に対応することが今まで以上に求められると考えます。

継続して取組む課題については、従来とおりとなりがちなスタンスを厳しく戒めて、常に会員および会員各社本位を念頭に必要により見直しを進めるとともに、効率化による経費面等での一層の改善を進めていきます。また、今まで改善を進めてきた各種の協会の取組みは会員に十分周知されているとはいいがたく、これらについて会員に積極的に伝えていきます。

今年度、新たに取組む主な具体的な項目は次のとおりです。

1. 鉄道施設技術を「縦」と「横」に繋ぐ取組み

- (1) 協会誌については、昨年に引き続き鉄道施設関係における重要な課題を集中的に取りまとめた特集を実施するとともに、民鉄や将来を担う若手技術者層を意識した編集に取組むなど、一層の内容の充実を進めます。
- (2) 当協会では、会員への情報提供ツールとして協会ホームページからの情報発信を進めてきました。今年度は協会誌等の電子版の更なる展開や、保有図書の見直し等の対応等を機会に、更なる使いやすさを追求するためホームページの全面改修に取組みます。
- (3) 若い会員を対象に新資格セミナーを開始しましたが、資格取得や技術力向上のための会員の取組みを支援すべく IT を活用したシステムの導入に取組んでいきます。
- (4) 会員、特に、若手会員向けの情報交換の場として各講演会開催や各支部活動の一層の充実を図っていきます。
- (5) 鉄道施設技術発表会への民鉄参加の拡大、用地・協議業務研究会の発表枠の増加等発表者や聴講者目線を基本に更なるブラッシュアップに取組んでいきます。
- (6) 長期にわたり協会誌に連載してきた技術講座等について冊子化し、業務資料として会員への配布を行います。今年度は「保戦機械管理」及び「用地協議関係」について実施します。

2. 協会の公共性の有効活用への取組み

- (1) 保安事業部では、円滑な工事实施に支障しないように、昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大で延期になった講習会を年度内に完結するために、受託者及び受講会社等と連携して取組みを進めていきます。
- (2) また、関係会社や受講者からの意見等をフィードバックするとともに、協会のめざすべき講習会の在り方について明確化を図り、講習会内容やその進め方について更なる改善を進めます。
- (3) 更に、保安講習事業の基幹システムである「保安講習会管理システム」については前年度導入した四国事務所のシステム定着に努めるとともに、今年度は札幌事務所に開発導入し、利用者の方の保安講習会申込み手続きの簡素化等サービスレベルの向上に取り組んでいきます。
- (4) 民鉄などの新たな資格講習会の受託・実施を進めるとともに、更なる拡大を進め、鉄道事業者の安全と安定輸送に貢献していきます。
- (5) 外国人技能実習制度への軌道保守整備作業職種追加について厚生労働大臣に認可申請を行います。そのための各種関係手続きの推進と、試験実施機関としての体制構築及び規程類の整理を進め、本格実施に向けて取組みます。
- (6) 現在、線路関係の各種資格については、公的な資格として確立されていない状況です。このため、施設協会では関係会員からの要請を受けて、線路技術及び軌道工事の公的資格創設についての支援に取り組みます。今年度は鉄道事業者向けの公的資格への足掛かりとして鉄道技術検定試験実施拡大を図り、関西の民鉄等への展開を進めます。
- (7) 叙勲について、特に民間企業からの選出については協会の重要な役割の一つとして取り組んでいます。今後も鉄道施設の従事員のモチベーション向上のために、支部等との連携強化を一層進めて、より多くの推薦、確保を目指します。

以上のような取組みを通じて、協会活動の会員の皆様からの支援の指標であるとともに協会の貴重な財務基盤である会員数について更なる獲得を行い、普通会员については一万人を目指します。

計画の内容は、以下のとおりです。

1 総会・委員会等

- (1) 通常総会
- (2) 支部総会
- (3) 理事会
- (4) 相談役・顧問会
- (5) 委員長会
- (6) 企画委員会
- (7) 財務委員会
- (8) 保安事業委員会
- (9) 叙勲及び表彰選考委員会
- (10) 功績賞等選考委員会
- (11) 協会誌編集委員会
企画、用地・協議、線路、土木、鉄道工事と安全各分科会
- (12) 論文賞等選考委員会
- (13) 保安賞選考委員会
- (14) 支部長・幹事長会議
- (15) 支部事務局連絡会議

2 行 事

- (1) 総合技術講演会（保線、調査・計画、建造物検査、土木工事施工）
- (2) 鉄道施設技術発表会（保線、土木）
- (3) 用地・協議業務研究会
- (4) 鉄道施設関係者新年懇親会（2団体共催）
- (5) 講演会、映写会、見学会等

3 調査等受託

- (1) 鉄道技術検定業務
- (2) 鉄道土木構造物アセットマネジメント検討委員会
- (3) 鉄道の土木技術基準に関する調査

4 保安関係講習会

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 工事管理者（在来線） | (7) 特殊運転者（新幹線MC） |
| (2) 工事管理者（新幹線） | (8) 特殊運転者（MTT） |
| (3) 軌道工事管理者（在来線） | (9) 軌道作業責任者（在来線） |
| (4) 軌道工事管理者（新幹線） | (10) 軌道作業責任者（新幹線） |
| (5) 重機械運転者 | (11) 省令10条教育等 |
| (6) 特殊運転者（MC） | (12) 列車見張員その他 |

5 刊 行

- (1) 日本鉄道施設協会誌
- (2) 土木工事標準仕様書（JR東日本編） 改正版